

「委員会評価報告書」に対する検討結果等報告書

事業名	防犯灯施設整備事業
担当課	総務課 地域安全係
【処理方針等】 <p>犯罪を防止するためには、犯行の機会を与えない、犯罪を起こさせない地域環境をつくることが重要であることから、危険箇所（暗い場所）を減らすための防犯灯の設置の意義、適正な設置基準及びLED防犯灯の特徴等について、自治委員会にて説明を行って参ります。</p> <p>自治区からの防犯灯LED化への申請については、年々増加傾向にあり、その役割は、ますます重要視されております。</p> <p>平成28年度当初予算については、LED防犯灯500基分の購入経費を計上しており、昨年度までの、自治区からの要望状況に応じて補正予算で対応するのではなく、年間必要相当分を一括して当初予算措置しているため、自治区の計画的なLED防犯灯更新への対応はもちろんのこと、蛍光管防犯灯の電球が切れた時点での申請（1箇所更新）への対応も可能となり、自治区の状況（財政面含む）に応じたきめ細かな対応が可能になると考えております。</p> <p>LED防犯灯に更新することで、消費電力やCO2削減により、地球環境保護にも大きく寄与でき、さらに電気代や維持管理費等の削減に大変有効であり、地球温暖化防止施策の促進と、維持管理費の負担解消との両面で大きな効果が期待できますが、蛍光管防犯灯からLED防犯灯に更新するだけで「防犯対策が推進できた」とは捉えておりません。LED防犯灯への更新を契機として、各自地区で地域内に暗い場所等がないか再度点検・確認していただき、危険箇所へ防犯灯を「新設」することが、防犯対策の推進だと考えております。実際に、平成25年度の防犯灯新設箇所は29箇所でしたが、防犯灯LED化事業を実施した平成26年度は新設箇所が87箇所と大きく増加しており、防犯対策の推進が図られたと考えております。</p> <p>市管理分の防犯灯LED化につきましても、交換に要する費用やその後のメンテナンス等を比較検討し、経費削減や地球環境保護の観点からも、各施設管理担当課、環境衛生課等の関係課と協議を進めLED化を促進して参ります。</p>	